

活動実績報告書

平成26年4月18日

登録番号 250637

氏名 渡邊 修

1. 活動状況

平成22年4月 ～ 平成26年3月

・活動の概要

木曽地域の森林の多くを占める急傾斜地における簡易で丈夫な森林作業道の開設と高性能林業機械を使用した効率的な木材の搬出を行う「低コスト・高効率作業システム」のモデル林を設定し、現地検討会の開催、施業内容の分析を行い、急傾斜地における搬出間伐技術を地域林業関係者に普及。また、民有林行政担当者と地域林業の現状認識と課題の共有及び解決に向けた取り組み事項を検討。

・当該活動を挙げた理由

長野県木曽谷流域では、これまで木材生産のほとんどが国有林で行われてきたが、民有林においても施業の集約化、路網の整備、国有林と連携した施業等の検討が進められ、今後、木材生産量の大幅な増加が見込まれている。しかしながら、当該地域は、急傾斜地が多く架線集材を主体とした生産システムとなっており搬出間伐のコストの低減が課題。また、当該地域では木材の生産、流通、加工の従事者が減少しており、今後の民有林を含めた木材生産量増加に見合った労働力の確保と木材の流通・販売に不安。

このような状況から、急傾斜地に応じた効率的な生産システムの導入・普及と、流域全体の伐採量等事業見通しに関する情報の把握と共有、労務量の確保、境界を考えない効率的な路網配置、木材の流通・販売体制整備等に民有林と国有林が連携して取り組む体制をつくることを活動対象に選定。

・当該活動における、あなたの立場と役割

平成23年度に林業技士(林業経営)を取得、平成24年度に准フォレスター研修を受講。中部森林管理局森林整備部所属の施業等担当企画官として、「低コスト・高効率作業システム」に関する現地検討会の開催等森林施業技術の普及を担当。また、流域管理調整官、長野県の准フォレスター等とも協働で民有林と国有林が連携して取り組む森林整備推進協定の作成等の検討に参画。

・活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

木曽谷流域の課題として、労働力の確保、流通・販売拠点の整備が重要であり、これまでの施業団地毎の取り組みでは、これらの解決は困難と考え、流域全体に多数の施業団地を設定し、事業実施計画をとりまとめ、林業・木材関係者が木材生産量等の情報を共有し、各者が適切な規模で人材の確保、機材・施設の整備に取り組めるよう、国、県、各町村、関係業界が参画する木曽谷流域森林整備推進協定の締結に向け各者と調整。

今回の民・国連携による准フォレスターの活動を通じて、県の準フォレスター等と地域の課題や効果的な施策のあり方を論議する機会が増え相互に問題意識を共有し一体となって説明できたことが、協定締結に至る各町村、森林・林業・木材産業関係者との合意形成に有効であったと考えるところ。

・活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

今後、施業団地毎の事業実施計画が作成されるが、これらが「絵に描いた餅」とならないようにするためには、各事業者が具体的に課題解決に取り組む必要がある。この地域は、小規模で人材が乏しい事業者が多いため、具体的な行動に着手できるよう、地域内のフォレスターが的確に情勢を把握・分析し、他地域の事例、施策等の情報の提供、事業提案、技術的助言などを行い支援していくことが重要。

注1:1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

2. 研修の受講状況

研修名 平成24年度 フォレスター育成技術研修 平成24年5月
(実施主体) (林野庁 森林技術総合研修所)

研修名 平成24年度 准フォレスター研修(中部ブロック)Ⅰ-①、Ⅱ-①
(実施主体) (林野庁 准フォレスター等育成研修事業) 平成24年6月～平成25年2月

研修名 平成25年度 流域管理・国有林准フォレスターフォローアップ研修 平成25年12月
(実施主体) (林野庁 森林技術総合研修所)

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

- ・各種研修の企画、運営又は指導者、講師としての参加
平成24年度 准フォレスター研修(中部ブロック)Ⅰ-②・③、Ⅱ-②・③
- ・森林総合監理士(あるいは森林総合監理士に関連していると考えられる)としての活動等の雑誌、広報誌等への投稿
「機械化林業」(一般社団法人 林業機械化協会)平成25年2月号
モデル林における「低コスト・高効率作業システム」-5か年の変遷-
- ・森林総合監理士(あるいは森林総合監理士に関連していると考えられる)としての活動等の研究会、シンポジウム等での発表
モデル林における「低コスト・高効率作業システム」-5か年の変遷-
 - ・平成23年度 中部森林技術交流発表会(中部森林管理局)
 - ・平成24年度 中部森林学会(信州大学)
 - ・平成24年度 国有林野事業業務研究発表会(林野庁)
- 木曾谷流域における民・国連携による林業再生への取組(准フォレスターの取組み)
 - ・平成24年度 中部森林技術交流発表会(中部森林管理局)
- ・各種研究会、シンポジウム発表等への指導
- ・森林総合監理士(あるいは森林総合監理士に関連していると考えられる)としての活動に関連する各種研修への参加
 - ・平成25年度 森林作業道技術研修(岐阜森林管理署管内)

注2:2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3:活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4:この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。